

ならやま里山林における
カシノナガキクイムシの発生状況
(2015年)



奈良・人と自然の会

I、カシノナガキクイムシ新成虫の羽化脱出調査

1、目的

前年（2014年）に実施したペットボトルトラップにおいてかなり多くのカシノナガキクイムシの成虫が誘引捕獲されたので、樹幹への侵入も多いのではないかと想定されたので、その樹から羽化脱出する成虫数を明らかにする。

2、調査方法

前年にトラップを設置した樹6本について地表面から地上150cmまでの高さまで粘着トラップ（商品名：ムシムシホイホイ及びカシナガホイホイ）の粘着面を内側にして巻き付け、幹から這い出てくる虫を捕獲。前年より2本少ないのは、1本は冬季に枯れたため、1本は誤って他の食入被害木とともに春先に伐採されたため。

成虫がコナラの樹から脱出し始めると予想される直前の6月4日に樹幹表面にピッチリと巻き付けて放置し、脱出が終わったと思われる8月6日に粘着トラップを剥がして内側に付着した虫数を調査した。2014年度のペットボトルトラップで8月後半～9月にも多くの虫の飛来が確認されていたので、同日に新たな粘着トラップを巻き付け遅れて脱出する虫がどのくらいいるかを明らかにするために9月25日まで被覆した状態を続けた。



3、調査結果

粘着トラップに捕獲されたカシノナガキクイムシ成虫数（8月6日調査）

高さ	C-426	B-54	B-145	B-146	D-84	B-560
上位	70	130	9	110	1	0
↓	59	59	6	130	5	0
↓	70	70	9	64	2	0
下位	100	100	35	30	2	0
計	229	242	59	334	10	0

粘着トラップに捕獲されたカシノナガキクイムシ成虫数（9月25日調査）

高さ	C-426	B-54	B-145	B-146	D-84	B-560
上位	0	0	0	0	0	0
↓	0	4	0	1	0	0
↓	0	1	0	0	0	0
下位	2	0	0	0	0	0
計	2	5	0	1	0	0

8月6日までの前半期間の調査では、食入被害のあった樹5本については成虫が捕獲されたが、食入被害のなかった樹1本(B-560)では予想通り成虫の捕獲はなかった。5本の樹で捕獲された虫の合計数は874頭で、最多334頭、最少10頭、平均175頭であった。2014年度のペットトラップの誘引捕獲数からみると、もっと多くの成虫が脱出してくるのではないかと予想したのだが意外に少なかった。

粘着トラップは隙間なく被覆したので隙間からの脱出は考えられないので、トラップに誘引捕獲された虫数に比べ侵入した虫は少なかったものと推定される。このことからペットボトルトラップの食入侵入防止効果はかなり高いものかと思われる。また、対象とした6本の樹は2015年度の夏も枯死することはなかった。

8月6日から9月25日までの後半の調査では、僅か8頭しか捕獲されなかったことから一般に言われているようにならやまでもカシノナガキクイムシの成虫の発生時期は6~7月として間違いはない。また、樹幹からのフラスの排出状況からならやま里山林での新成虫のコナラへの食入は6月中~下旬に集中していた。

では、ペットボトルトラップに9~10月に誘引飛来する大量の成虫は何処からやってきたものか疑問が残る。

II、トラップによるカシノナガキクイムシの発生時期調査

1、目的

ならやま里山林内のカシノナガキクイムシ成虫の発生(飛来)時期を明らかにするとともに、発生量について前年との比較を行う。

2、調査方法

ペットボトルトラップ(商品名:カシナガトラップKMC)による飛来調査は、7月2日にならやま里山林のコナラ3樹(1樹当たり2基)に設置し、7月9日~11月5日の間、1週間ごとに誘引捕獲されたカシノナガキクイムシ成虫数をカウントした。誘引用のアルコールはボトル内の残液をチェックし、随時取り替えた。



ペットボトルトラップ



誘引捕獲されたカシノナガキクイムシ

粘着トラップ（商品名：カシナガホイホイ）による捕獲調査は、6月4日ならやま里山林内のコナラ3樹の樹幹の高さ1m前後の部位にトラップを巻きつけ6月18日～11月5日の間、1週間毎にトラップに付着したカシノナガキクイムシ成虫数をカウントした。粘着トラップは2週間毎に新しい物に取り替えた。

3、調査結果

ペットボトルトラップに誘引捕獲されたカシノナガキクイムシ成虫数

樹番号	C-377	C-377	B-42	B-42	B-224	B-224	合計
7月9日	416	245	260	600	67	85	1673
7月16日	780	480	550	1200	130	450	3590
7月30日	960	1040	800	1200	700	1500	6200
8月6日	350	100	352	423	344	728	2297
8月13日							
8月20日							
8月27日	3000	1320	1680	2800	1760	3920	14480
9月3日	3080	625	760	1400	1280	1800	8945
9月10日	2400	650	1080	1350	1080	1200	7760
9月17日	1680	800	840	1440	840	1120	6720
9月25日	2400	1430	540	1500	720	1650	8240
10月1日	2080	560	375	720	800	840	5375
10月8日	800	650	480	1320	480	680	4410
10月15日	960	660	340	575	400	560	3495
10月22日	840	280	180	510	280	450	2540
10月29日	210	140	44	180	125	133	832
11月5日	48	28	35	22	43	22	198
合計	20004	9008	8316	15240	9049	15138	76755

8月13日、20日は調査が出来なかったため27日の捕獲虫数は3週間分の合計値である。

調査期間中つねに誘引捕獲され、総捕獲数は最少8316頭、最多20004頭、平均12793頭であった。2014年度は最少933頭、最多12952頭、平均4802頭であったことから誘引捕獲数は約2.5倍と増加していた。林内の侵入被害を受けた樹が非常に増えていたことに合致していた。

誘引捕獲時期は7月中～下旬と9月上～中旬の2山型で前年と同じ傾向が認められ、また、後期の捕獲数も多いのも同じであった。コナラ樹幹への侵入時期は6～7月に集中しているため、この後期に捕獲された虫はどこに向かうのだろうか疑問が残る。



捕獲されたカシノナガキクイムシ

粘着トラップによって捕獲されたカシノナガキクイムシ成虫数

調査日	B-536	D-49	D-115 近辺	計
6月11日	未調査			
6月18日	0	220	0	220
6月25日	23	13	0	36
7月2日	190	26	13	229
7月9日	68	1	0	69
7月16日	9	1	2	12
7月23日	未調査			
7月30日	3	1	4	8
8月6日	19	0	3	22
8月13日				
8月21日	20	2	2	24
8月27日	2	1	0	3
9月3日	2	2	0	4
9月10日	1	114	42	157
9月17日	1	140	7	148
9月25日	0	130	1	131
10月1日	0	56	2	58
10月8日	13	104	9	126
10月15日	13	50	3	66
10月22日	6	6	7	19
10月29日	0	5	0	5
11月5日	0	0	0	0
合計	370	872	95	1337

6月11日は未調査であったが、18日の調査時にはかなり捕獲され、飛来ピークは6月下旬～7旬で、ほぼ前年とおなじであった。前年は8月末で調査を打ち切ったが、本年は11月まで継続調査した結果、9月～10月にも多くの個体が捕獲され、前期よりも後期の方が多く、ペットボトルトラップの調査結果と同じ傾向であった。



粘着トラップで捕獲されたクモ、トビナナフシなど